

令和5年度 足利中央特別支援学校 学校評価シート

教育目標、目指す児童生徒像、教師像、学校像

教育目標	児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育と必要な支援を行い、その能力や可能性を最大限に伸ばし、健やかで心豊かな人を育む。
目指す児童生徒像	〔あかるく〕前向きな気持ちを表情や声、言葉で表現できる児童生徒 〔つよく〕健康を保持増進し体力を高め、運動やスポーツにチャレンジする児童生徒 〔たすけあう〕人と隔たりなく心豊かに関わり、互いに支え合うことのできる児童生徒
目指す教師像	1 深い児童生徒理解に基づく丁寧な指導ができる教師 2 研修・研鑽に励み資質・能力の向上を目指し続ける教師 3 豊かな人間性をもち信頼される教師
目指す学校像	1 安心・安全な学校 2 児童生徒が意欲的に学べる学校 3 地域社会に開かれた学校 4 教職員がやりがいを感じられる学校

令和5年度努力点

重点目標	推進担当	達成目標（評価項目）	評価の観点
〔学習環境の整備〕 1 危険等発生時の体制整備と安全管理を徹底するとともに、保健教育・安全教育の充実を図る。	健康指導部 児童生徒指導部	・災害発生時の対応等について、より現実的な状況を想定し、訓練や防災学習を行う。	・避難訓練や防災学習等において、現実的な状況を想定した内容を取り入れ行うことができたか。
2 ICT活用を含む教材教具の工夫をはじめ、合理的配慮による個別最適な学びの環境を構築していく。	教務部 学習指導部	・ICTの効果的な活用を含め、教職員の指導実践の共有、教材教具の工夫等により、個々に応じた指導をよりきめ細やかに行う。	・デジタル教材の効果的な活用を含め、指導実践の好事例を参考にするなどしながら、個々に応じた指導を行うことができたか。
〔教育の充実〕 1 新学習指導要領に対応した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。	学習指導部 各学部	・ケース会議や授業研究会を通してPDCAサイクル（評価）→A（改善）のプロセスに重点的に取り組み、授業作りに生かす。	・指導内容や手立てについて適切に検証し、次の指導に生かすことができたか。
2 児童生徒の自立と社会参加に向けたキャリア教育の充実を図る。	進路指導部	・キャリア教育全体計画に基づいたチェック表の作成と確認を行うことを通して、教師のキャリア教育についての意識向上を図る。	・学部会等でチェック表について、確認や検討を行うことができたか。
3 健康の保持増進に必要な資質・能力の向上を目指すとともに、運動を楽しむことのできる素地を培う。	健康指導部 各学部	・運動やスポーツに興味を持ち、楽しめることのできる素地を培うため、各種スポーツ（ニュースポーツ等）について学習する。	・児童生徒が授業や行事等で、スポーツ（ニュースポーツを含む）等について知る、行う、応援することができたか。
4 令和6年度創立40周年記念事業の準備を着実に進める。	特別活動部 学習指導部 各学部	・創立40周年記念事業への児童生徒の参加方法について検討を行い、計画的に準備を進める。	・児童生徒が記念事業にどのように関わるかを検討し、共通理解を図りながら準備を進めることができたか。
〔家庭や地域との連携〕 1 家庭や地域との連携・交流・協働によって開かれた教育課程を実現し、特色ある学校づくりを推進する。	渉外部	・地域連携授業を実施し、地域の方との連携を図る。	・地域連携授業を継続して実施し、児童生徒との触れ合い、交流が行われるような内容の授業を行うことができたか。
2 児童生徒の学びと豊かな生活を保障するため、地域資源の活用と行政、医療、福祉等関係諸機関との連携を深める。	児童生徒指導部 地域支援部	・地域の行政、医療、福祉等関係諸機関との連携を図る。	・児童生徒の生活上の問題解決のために、地域の行政、医療、福祉等関係諸機関を積極的に活用することができたか。
〔教職員の働き方〕 1 様々なスキルの向上を目指して自ら学び続けることのできる環境づくりを進める。	教務部	・各種の外部研修や校内研修に積極的に参加するとともに、学び得たことを日常の指導実践に取り入れることができる。	・学校安全や学習指導に関する校内研修等において学んだことを学級・学年等の担当者間で共有し、指導実践に生かすことができたか。
2 心身の健康の保持増進と、ワークライフバランスを意識した働き方改革を推進する。	教頭	・教員一人一人の意識改革を促進し、勤務時間の適正化と業務改善に取り組む。	・働き方改革の取り組みを通して業務改善に取り組み、業務を行う環境の整備に取り組もうとする意識を向上することができたか。
3 情報共有と役割分担を意識し、組織力の向上を目指した協働体制の確立を図る。	教頭	・組織での対応という視点を持ち、情報共有や役割分担をすると共に、互いに助け合う意識を持って業務に取り組む。	・情報を共有し、声を掛け合い協力し合うことで、学部や校務分掌部など組織として取り組むことができたか。